

③ 「集団での学び」と「個別の支援」って？

就学前支援コーディネーターとは



岡山県では、発達障害等による生活上の困難さが顕在化しやすい4歳児を対象に、特別な支援を必要とする幼児の早期発見・把握を行うとともに、集団において適切な指導・支援が開始できるように、就学前支援コーディネーターを配置しています。

就学前支援コーディネーターは、自立と社会参加に向けて、早期からの集団適応力を付けることが重要であることを踏まえ、市町村と連携し、県内の幼稚園、保育園、認定こども園等の巡回相談を行っています。

集団への指導のあり方を見直してみましょう。
子どもたちが指示を理解しやすい工夫などを行っていますか。集団が落ち着くことで、Aさんが落ち着く場合もありますよ。



Aさんに対する支援ばかりを考えていました…。
集団への指導のあり方を考えることは、「特別支援教育」においても大切なんですね！どの子にとっても分かりやすい環境を考えたいと思います。

分かる・できる工夫の例



全体への説明

図を描きながら、
短い言葉で説明



自分で確認

いつでも、どこでも
自分で確認できる



自分で選ぶ

必要なものや場所を
自分で選ぶことができる

「特別支援教育」では、子どもたちを「つなぐ」という観点も大切です。子どもたちが互いに認め合い、助け合うようになると、「集団での学び」が高まっていきますよ。



もしかして、Aさんを手助けしているBさんを「困っている人を手伝えるってステキね」と褒めることも「つなぐ」支援の一つですか？

それは素晴らしい支援ですね！

